

令和3年5月16日（日）

令和3年5月27日（日）改訂

令和3年6月17日（木）改訂

新型コロナウイルス感染防止対策にともなう

第103回全国高等学校野球選手権岐阜大会運営の基本的な考え方（ガイドライン）

一般財団法人岐阜県高等学校野球連盟

はじめに

新型コロナウイルスの感染拡大「第4波」では、感染力の高い変異株によって、高校生など若者層にも感染が拡大しました。県独自の『第4波』非常事態宣言』及び国特措法に基づく「まん延防止等重点措置区域」への指定を踏まえ、県教育委員会では、各高校の部活動に厳しい制限を要請してきました。そのような中で、各加盟校におかれては、今夏選手権大会に向けて、感染防止対策を徹底しながら、生徒へのご指導をいただいていることに感謝を申し上げます。

今夏選手権大会は、3年生にとっては最後の大会であり、選手たちが甲子園を目指し、澁刺とプレーする姿を、多くの方々が球場に足を運び応援していただけることを願っています。しかし、高校野球は教育の一環であり、生徒の健康・安全を最優先とし、保護者を含め来場されるすべての方々に「安全と安心」な大会運営とする必要があります。医療現場がひっ迫する中で、高校野球が感染拡大の原因となることは許されません。そのため、今春大会運営の基本的な考え方（ガイドライン）をベースとし、改めて今夏選手権大会へ向けて内容を追加・改訂しました。これらの感染症対策を遵守した上で、今夏選手権大会を開催いたします。各加盟校におかれましては、本ガイドラインに沿って、感染防止対策の徹底に努めながらの大会運営になることへのご理解とご協力をお願いいたします。

なお、今後の政府や岐阜県、県教育委員会、球場を所管する各自自治体の感染症対策の追加措置等に伴い、本内容は変更する可能性があることにご留意ください。特に入場者の制限については、レベル0～5まで想定し、今後の感染拡大状況に応じて判断をしていきます。

また、加盟校・大会出場校が生徒や職員の感染等で臨時休校になった場合は、部活動が学校教育の一環であることから、これまでと同様、出場辞退はやむを得ない措置と考えます（臨時休校の期間は、保健所の指導のもと県教育委員会が学校と協議して決定）。

今夏選手権大会は、県高野連にとっても新たなステージへのチャレンジです。コロナと共存する生活様式は不自由で制約も多きものですが、もう少しの辛抱と信じ、今後の高校野球の発展のために、この状況を皆様方と乗り越えていきたいと切に願います。

1 基本方針

本大会は、開催予定の第103回全国高等学校野球選手権大会への出場校を決定することを目的としています。日本高野連が示す都道府県大会運営に関するガイドラインに従い、選手や学校関係者の安全安心を最優先しながら、代表校を決定するまでの全日程を運営する予定です。

そのため、選手、保護者及びチーム関係者は、練習、試合、移動等に当たって、新型コロナウイルス感染防止対策の基本となる下記①から③を常に意識して行動してください。

- ①本ガイドラインにおいて、特段の定めがない限りマスクを着用してください。
- ②三つの密（密閉、密集、密接）を徹底的に回避してください。
- ③こまめに手洗い、手指消毒を行い、咳エチケットを徹底してください。

2 事前告知について

通常とは異なる大会運営となるため、来場を希望する方々に対して入場者の制限や観戦時の感染への予防策対策の徹底（本ガイドライン項目3以降の記載内容）について、県高野連のホームページを通じて一般に広く告知します。

また、加盟校・大会出場校には、感染状況により、入場可能な学校関係者の数等が変更となる可能性もあるため、各会場での不要なトラブルを避けるため各校関係者に必要な情報を速やかに関係者に周知していただけるようご協力をお願いいたします。

3 施設（球場）への入場者について

原則、令和3年6月2日付け第103回全国高等学校野球選手権地方大会新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインに則ります。なお、感染状況が安定し、あるいは更に厳しい状況になり、政府や行政、自治体の方針が変更された場合は、最新情報を参考にした上で、その都度対応を協議し、速やかに各校へ周知していく予定です。

(1) 入場者の基本的な考え方

- ①ベンチ人員 選手20名 記録員1名 責任教師、副部長、監督各1名 計24名
- ②大会役員、球場役員、審判員、報道関係者、スカウト等
- ③その他については、状況により以下の運用のいずれかを選択します。

学校関係者の入場については、今春大会同様に学校管理下で各責任者が全員の健康状態、連絡先を把握し、入場前に大会本部へ入場者名簿を提出してください。

➡ 「(3) 大会当日施設（球場）に入る全参加者の把握」を参照

【無観客試合】

Level	スタンド利用	学校関係者の入場	一般観戦者
5	×	試合でベンチ入りするチーム関係者のみ入場可	×
4	○	ベンチ人員以外の部員、学校職員のみ入場可	×
3 の 1	○	ベンチ人員以外の部員、学校職員、運営協力隊（部員の保護者及び家族）のうち各チーム200人まで入場可 ※注① *参考：2020 夏季独自大会、昨秋岐阜県大会の運用方法	×
3 の 2	○	ベンチ人員以外の部員、その他学校関係者（学校職員、部員の保護者及び家族、野球部OB会メンバー、野球部後援会メンバー、野球部関係者（チームトレーナー等）、当該学校の一般生徒のうち各チーム300人まで入場可能 ※注①	×

注①Level 3 の運用になる場合は、各校に運営協力費を依頼する。

【有観客試合】

Level	スタンド利用	学校関係者の入場	一般観戦者
2	○	ベンチ人員以外の部員、その他学校関係者（学校職員、部員の保護者及び家族、野球部OB会メンバー、野球部後援会メンバー、野球部関係者（チームトレーナー等）、当該学校の一般生徒のうち各チーム300人まで入場可能 *参考：今春岐阜県大会の運用方法	×

1	○	ベンチ人員以外の部員、その他学校関係者（学校職員、部員の保護者及び家族、野球部 OB 会メンバー、野球部後援会メンバー、野球部関係者（チームトレーナー等）、当該学校の一般生徒（応援団等も含む）まで入場可 ※注② ただし、ブラスバンドによる応援は不可	○
0	○	ベンチ人員以外の部員、その他学校関係者（学校職員、部員の保護者及び家族、野球部 OB 会メンバー、野球部後援会メンバー、野球部関係者（チームトレーナー等）、当該学校の一般生徒（応援団等も含む）まで入場可 ※注② ブラスバンドによる応援も可 *令和 3 年 6 月 2 日付け第 103 回全国高等学校野球選手権地方大会ブラスバンド入場に関するガイドラインを遵守	○

注②：入場者数は、上限 5,000 人あるいは球場収容施設（スタンド開放エリア）の 50%以内のいずれか小さい方とする。しかし、県の規定及び使用施設（会場）が示す上限を超えてはならない。

（2）入場制限対象者

以下の方は施設（会場）に入場できません。

ア. 過去 1 週間以内から来場日までに本人あるいは家族に下記①から④を含む体調不良のある方

①体温 37.5℃以上 ②強い倦怠感 ③咳、咽頭痛、息苦しさなど ④味覚・嗅覚異常等の異変
イ. PCR 等検査陽性歴があり、かつ下記①から④に該当する方

①有症状者では、発症日から 10 日未満かつ症状軽快後 72 時間以内

②症状軽快後 24 時間経過から 24 時間以上の間隔をあけ 2 回の PCR 検査で陰性を確認できていない

③無症状病原体保有者で、陰性確認から 10 日未満

④検体採取日から 6 日間経過後 24 時間以上の間隔をあけ 2 回の PCR 検査陰性を確認できていない

ウ. その他、以下の①から⑥に該当する方

①濃厚接触者として自宅待機中

②家族が濃厚接触者として自宅待機中

③家族に上記（2）ア.①の体調不良者がある

④海外から帰国（特に日本に入国）して 14 日以内

⑤マスク非着用の方（フェイスシールド・マウスシールドのみは不可）

⑥指定の「検温確認表」または各球場（市町）用の「健康チェック表」に氏名・連絡先等の必要事項の記入に協力いただけない方

（3）大会当日、施設（球場）に入る全参加者の把握

大会に関わるすべての学校関係者は、試合毎に「試合・大会・チーム同行者 検温確認表」または各球場（市町）用の健康チェック表の作成・提出を義務付けます。また、試合開催 2 週間前からの行動歴（いつ、どこに行き、誰と会ったか）を記録しておいてください。

【学校関係者】

ア. 感染者を確認した場合、速やかに周知できるシステムを各高校は構築しておいてください。

イ. 施設（会場）への入場予定者は次の手順で入退場してください。

- ①施設（会場）到着後、控え部員の検温等確認表、部員家族検温確認表、学校関係者検温確認表、野球部関係者検温確認表等にそれぞれのグループ毎に記入し、有料入場者数を確定してください。
- ②各高校が把握している各グループの代表者が上記確認表を大会本部に届ける。その際、「(2) 入場制限対象者」に該当する方を申請しないでください。
※各グループの代表者：責任教師の各会場での受付時に、目印をお渡しいたします。
- ③各施設（会場）の指定場所で、球場役員が各グループの入場者数分の入場券をまとめて販売します。各グループ代表者は、入場券をまとめて購入し、それらを入場予定者に配布してください。
- ④入場可能時間になったら順番に手指消毒をしたのち、全員マスク着用で入場してください。
なお、入場の際は入場券の半券を係員に提示してください。
- ⑤試合途中でスタンドを出入りする際は、係員に入場券の半券を提示してください。
- ⑥原則、試合が終了したら完全退場となります。ベンチ人員以外の部員を中心に消毒作業を手伝い、完了後退場してください。

【一般観戦者】

- ①各施設（会場）にて、指定区域を設けます。
- ②所定の用紙に緊急時の連絡先として氏名・電話番号・メールアドレスの提供をお願いします。
- ③非接触型体温計で 37.4℃未満であることと当日の体調を球場役員が聞き取り、その内容を確認のうえ、入場可否を判断します。
- ④手指消毒をしたのち、マスク着用で入場する。なお、入場の際は入場券の半券を係員に提示してください。
- ⑤試合途中でスタンドを出入りする際は、係員に入場券の半券を提示してください。
- ⑥座席の記録をお願いします。〔席（席番号）をスマートフォン等のカメラに記録するように促す案内、座席の撮影、座席番号のメモ保存など〕
- ⑦一度お座りになられた座席からの移動は避け、球場内の不必要な回遊をしないでください。
- ⑧感染者との接触を通知する「接触確認アプリ（COCOA）の導入をお勧めします。

4 適切な感染防止対策を踏まえた施設利用の徹底について

各校の監督及び責任教師は、参加生徒及び教員の体調管理の徹底、学校関係者の健康チェック、入場者の制限や誘導、手指の消毒設備の設置、マスク着用の要請、「三つの密（密閉・密集・密接）」を徹底的に避け、クラスターの発生リスクを下げるために、それぞれの場面で以下の対策を講じてください。

(1) 大会に参加する全ての方に共通する感染症対策

大会に参加する全ての人（選手・顧問・大会役員・審判等、球場に入る全ての人）は、必ず当日の朝、自宅もしくは寮で検温を行い、平熱であることを確認して球場に入ってください。高熱の者や体調不良（倦怠感、咳、咽頭痛等）人の参加は認めません。球場に入る際は、必ずマスクを着用してください。また、三密を避け、各所に設置された消毒液を使い、頻繁に手指消毒をしてください。

- ①全参加者の手洗い、うがいを励行してください。
- ②試合当日までの体調管理と検温等の健康チェックをしてください。
- ③マスク及び消毒液等は、参加校で持参してください。

- ④会場への移動の際は、バスや乗用車に乗車する人数を制限し、マスクを着用し、車内での会話を控えるなど、各学校で責任を持って集団感染のリスクを避けてください。
- ⑤会場出入り際にはマスクの着用、手指消毒を徹底し、試合前後のベンチやスタンドの消毒を行ってください。なお、球場責任者は、球場内の必要箇所（出入り口・ベンチ・トイレ等）に消毒液を設置し、常時手指消毒ができる体制をとってください。
- ⑥ベンチが狭く、「三つの密」の条件をクリアできない場合は、グラウンドの一部またはスタンドの一部も使用することができます。この場合、当該校責任教師と球場責任者が、ベンチに入ることができる人数を決定します。
- ⑦次試合の出場チームは受付あるいは球場本部に「試合・大会 チーム同行者 検温確認表」等を提出した後、スタンド等で待機することができます。その際、十分に間隔を空け、密集を避けてください。
- ⑧使用した場所は自身で清掃・消毒し、ごみは必ず持ち帰ってください。

(2) 出場選手等の球場での留意点

ア. 球場内での行動

- ①ウォーミングアップ時、選手のマスク着用は義務付けません。ただし、球場外の観客近くでウォーミングアップをする場合はマスクを着用してください。
- ②走る・歩く運動においては、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方等工夫した位置取りをしてください。
- ③活動前後や休憩時は、その都度マスクを着用してください。
- ④試合前後の飲食は、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話を控えめにし、咳エチケットを徹底してください。会話が必要なときはマスクを着用してください。
- ⑤食べ物の取り分けや飲み物の回し飲みを絶対にしないでください。
- ⑥試合中、素手によるハイタッチや握手を控えることとし、自身の目、鼻、口なども触らないように注意してください。
- ⑦控え室（長良川・大垣等）には荷物・チーム道具だけを置き、チーム全体で待機しないでください。

イ. 十分な距離の確保と声出し

- ①試合開始前、終了時に整列する際、選手は手を腰に当てて、隣の選手とぶつからない程度の距離を空けて挨拶を行ってください。試合終了後の校歌斉唱時も同様とします。
なお、相手チームと握手などは行わないでください。
- ②ダッグアウト前で円陣を組む時など密集にならないよう注意し、一定の距離を保ってください。なお、ダッグアウト前での声出しは禁止します。
- ③試合中に守備のタイムでマウンド上に集合する際はグラブで口を覆ってください。
- ④ダッグアウト内では密集にならないよう、できるかぎり人と人の距離を一定間隔に保ってください。
- ⑤試合中、ダッグアウト内は熱中症対策を十分に講じてマスクを着用してください。グラウンドで試合に出場している選手はマスクの着用を義務付けません（ベースコーチを含む）。
- ⑥試合後、大声での校歌斉唱は控えてください。

ウ. 消毒・清掃

- ①チームの共用用具として考えられるもの（バット、ヘルメットなど）は、こまめに消毒してください。
- ②市販されている界面活性剤含有の洗浄剤や漂白剤を用いて清掃することが求められます。清掃後に不特定多数の手が触れる可能性がある環境表面を清拭消毒することが重要です。

エ. ゴミの廃棄

会場設置のゴミ箱は使用せず、参加校で必ず持ち帰ってください。特に鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用してください。また、マスクや手袋を脱いだ後は必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒してください。

(3) 観客席における観戦時の留意点・注意喚起及び要請

①厚生労働省が開発した感染者との接触を通知する新型コロナウイルス接触確認アプリCOCOAの登録を推奨します。

②観戦時は、マスクを着用し、人と人との距離(1.5~2m)を十分とって観戦してください。
※放送やビジョンを用いて頻繁な注意喚起を促します。熱中症が懸念される場合は、「こまめな水分補給」「周囲の人と距離を十分にとれる場所でマスクを一時的にはずしての休憩」も状況に合わせて行います。

③観戦時に以下の行為は禁止します(飛沫感染、接触感染を防止するため)。

- ・大声での声援、応援、校歌等の合唱(試合中、試合前後)及びエール
- ・鳴り物の使用(ブラスバンド、太鼓などを含む)
- ・得点時などのハイタッチや、座席の上に立ったり、一か所に集まったりする行為
- ・タオル等を回す行為

(参考) 応援可能な事例

- ・プレーの度の拍手(両手をメガホン代わりにして大きな声は発しない)
- ・拍手での応援(自席で手を叩く程度で大きな声は発しない)

④消毒・清掃…(2) 出場選手等の球場での留意点のウ.に準じます。

⑤ゴミの廃棄…(2) 出場選手等の球場での留意点のエ.に準じます。

5 審判員及びメディア関係者について

球場入りする審判員及びメディア関係者にも毎日の検温、体調チェック、マスク着用を義務づけます。必ず当日の朝、検温を行い、平熱であることを確認してから球場に入ってください。高熱(37.5℃以上)の方や体調不良(倦怠感、咳、咽頭痛等)の方の参加は認めません。

受付で検温確認表に必要事項を記載し、その後は連盟発行のIDを必ず携帯してください。

(1) 審判員について

- ①審判部についても、最大限の感染予防対策を要望します。
- ②審判控室は、使用する者が定期的に換気をし、座席の間隔は一定の距離を保ってください。
- ③審判部が使用する箇所すべてを使用後消毒してください。
- ④会場設置のゴミ箱は使用せず、ゴミは各自持ち帰ってください。

(2) メディア関係者について

- ①各メディアには、1社1日あたりの取材者を限定するなどし、全体の人数をできるだけ絞り込むよう要請します。カメラマン席の人数も制限します。
- ②選手や監督への直接取材は代表取材を原則とします。ただし、間隔をとって実施できるスペースがあれば、スタンドに取材エリアを設けることを妨げません。

6 大会前、大会中に体調不良者が発生したときの対応について

陽性者が発生した場合、本人が発症2日前から現時点までの行動歴を明らかにし、接触した可

能性のある者を特定しながら感染拡大を阻止することが重要です。参加校部員（記録員を含む）・指導者、運営役員、審判委員等、大会に関わるすべての者は、試合開催2週間前の行動歴（いつ、どこに行き、誰と会ったか）を必ず記録しておくようにお願いします。（以下：記録例）

日付	行先	滞在時間	接触者
6月20日	部活 学校球場	2時間	部員全員
6月21日	〇〇病院	1時間	担当医療従事者と受付人

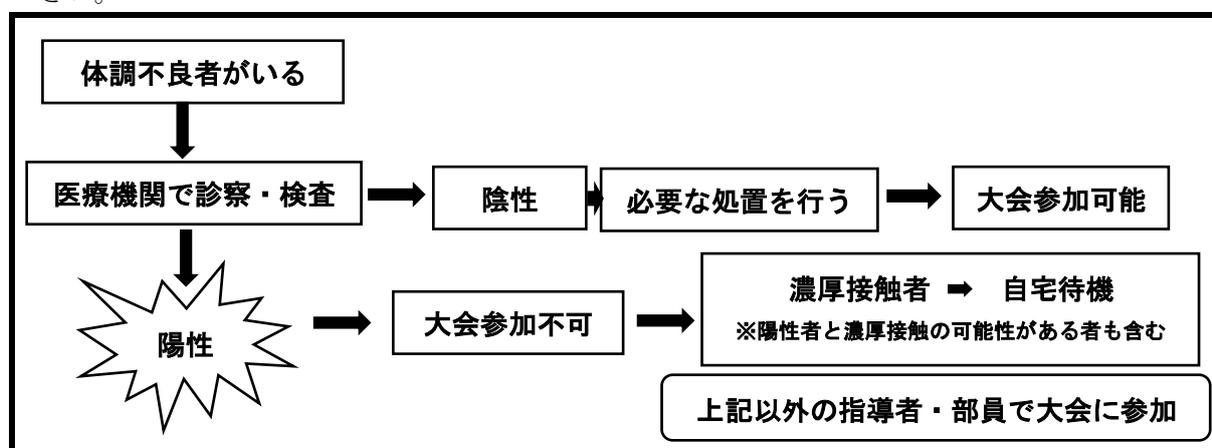
大会前、大会中に参加校から感染者ならびに感染の疑われる者（濃厚接触者）が判明した場合、速やかに県高野連に報告してください。

なお、登録選手の変更については令和3年6月10日付けで日本高野連及び朝日新聞社が示した「第103回全国高等学校野球選手権地方大会における登録選手の変更について（確認）」に準じ、開幕日の前日（7月9日13:00）を変更締め切りとします。それ以後の変更は認めません。

（1）大会前日までに体調不良者がいるチームの判断について

登録選手または部顧問（関係指導者）の陽性が判明した場合には、当該選手・顧問はもちろん、濃厚接触者と特定された者、及びPCR検査を受検予定者または受検後結果が出ていない者も出場は認めません。

責任教師は検査結果とその対応を速やかに連盟に報告し、保健所の指示・指導に従ってください。



（2）大会期間中に陽性が判明した場合の考え方

①大会期間中に大会会場にいた参加校関係者に陽性が判明した場合は、当該校は原則、その後の大会への**出場を辞退**することになります。

指導者や部員が濃厚接触者と特定された場合は、それ以外の指導者、部員で試合に参加してください。

②大会会場にいた関係者に陽性が判明した場合、県高野連は保健所と連携し、その球場は当日と翌日は閉鎖し、消毒と濃厚接触者の確認作業を行います。

③上記の場合、試合の取り扱いや、その後の組み合わせ等については大会本部で判断します。

④一般観戦者については、連盟までご連絡いただくよう入場時に促します。

連盟は、任意で登録されたメールアドレス宛に連絡を入れます。

7 その他

感染者や濃厚接触者が複数チームに広がる状況や、県内の感染状況等によっては、大会中においても、県高野連の判断で大会自体を中止することもあります。なお、本ガイドラインに記載されていない事象が発生した場合は、連盟が協議のうえ、対応します。